

へいせい ねんど しょう しゃ しゅうろう しえん けんしゅう しゅうけい けっか
平成30年度障がい者就労支援研修の集計結果

へいせい ねんど
平成30年度

障がい者就労支援研修(平成30年度実施分)の集計結果

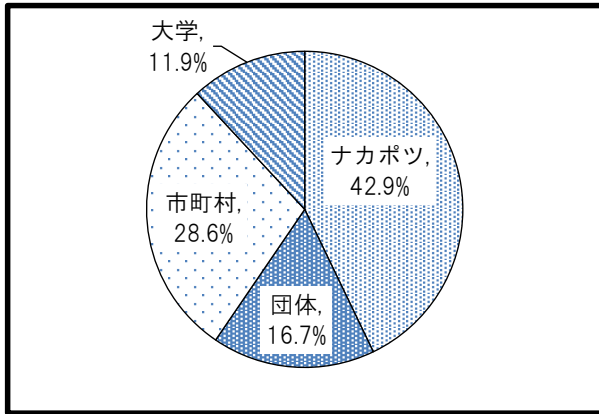
○調査対象: 209(市町村 179、団体・法人 7、障害者就業・生活支援センター 11、大学 12)

○調査時期: 平成30年10月

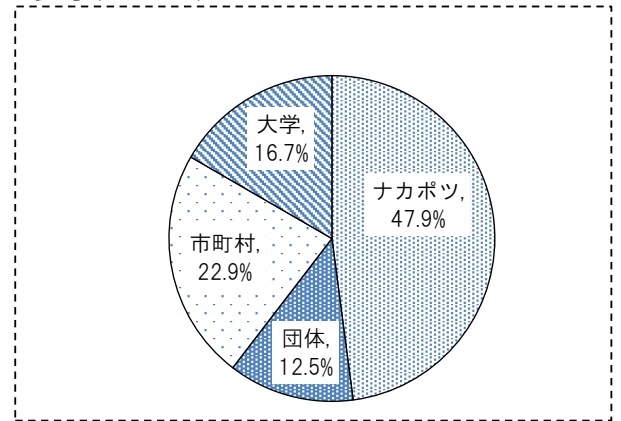
○研修実施数: 42

①実施主体

H30.10



※参考(H29.10)

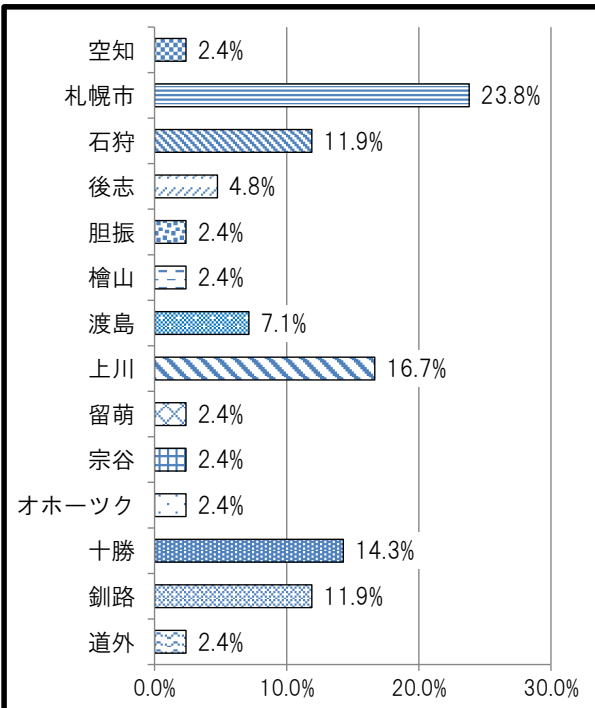


○研修実施数は「障害者就業・生活支援センター」が最も多く、「市町村(委託を含む)」がこれに次ぐ。

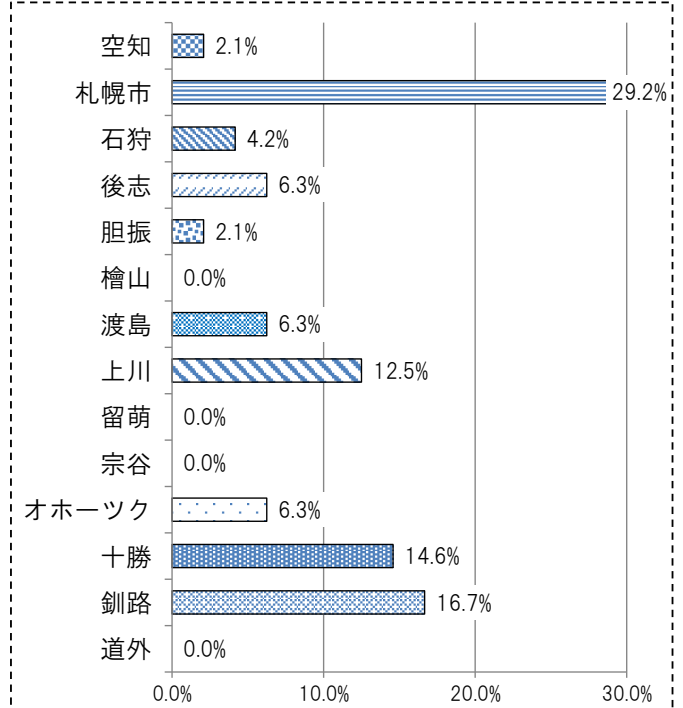
○団体/法人及び市町村はそれぞれ昨年から1回ずつ実施研修が増加した。

②実施地域※複数回答

H30.10



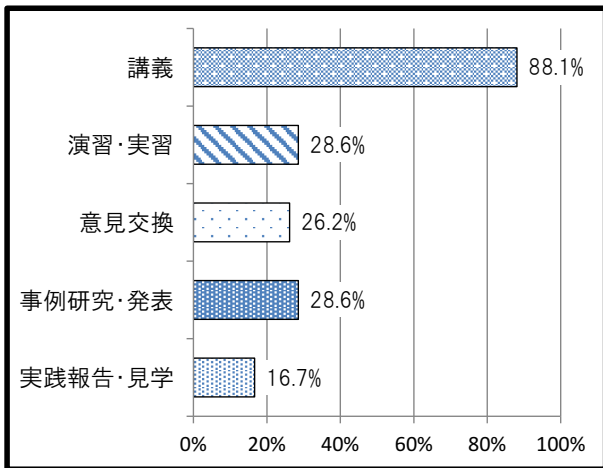
※参考(H29.10)



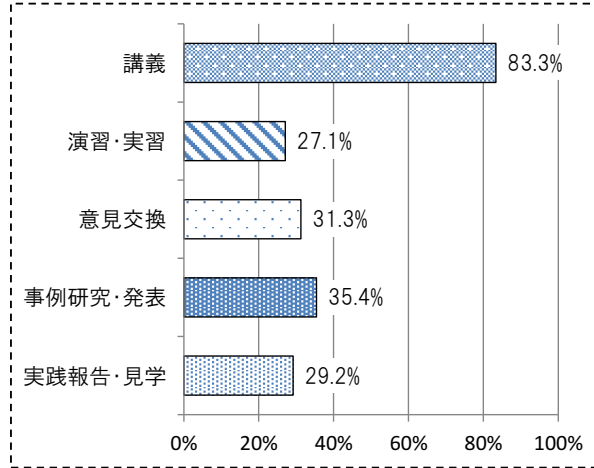
○団体・大学が集中する「札幌、石狩」での開催が最も多く、次いで「上川」、「十勝」での開催が多い。

③ 研修方法※複数回答

H30.10



※参考(H29.10)

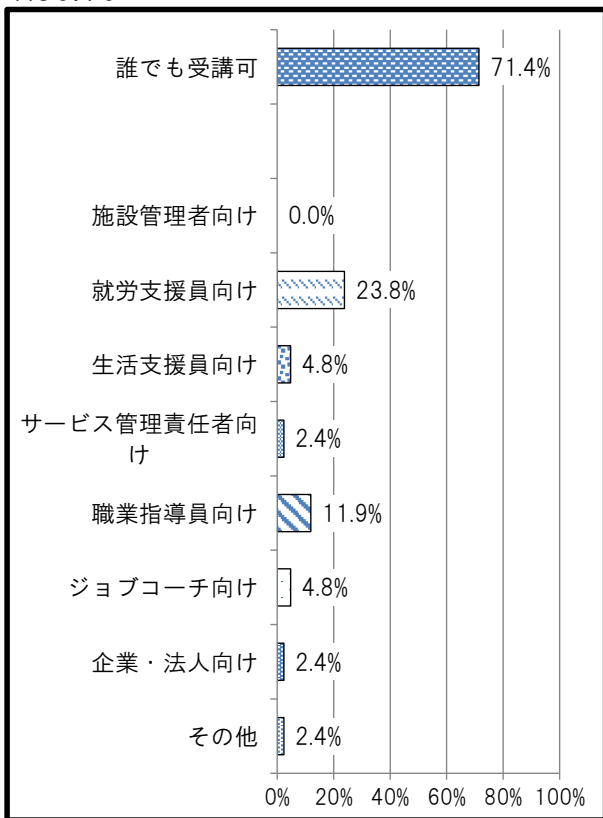


○「講義」形式が最も多い。

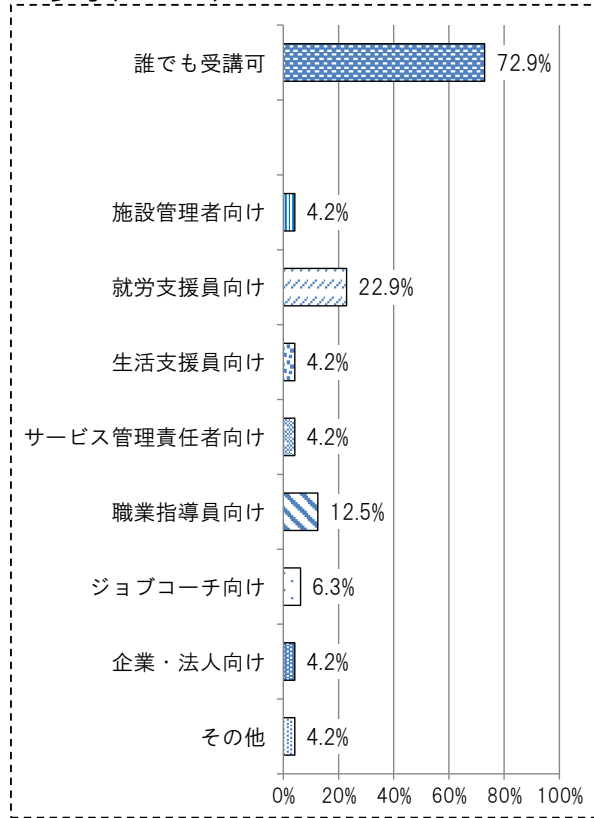
○一般向けの研修は基礎知識を学ぶものが多く、多くの情報を大勢に短時間で伝える必要があるため、講義形式が多く選ばれていると思われる。

④ 対象目安※複数回答

H30.10



※参考(H29.10)

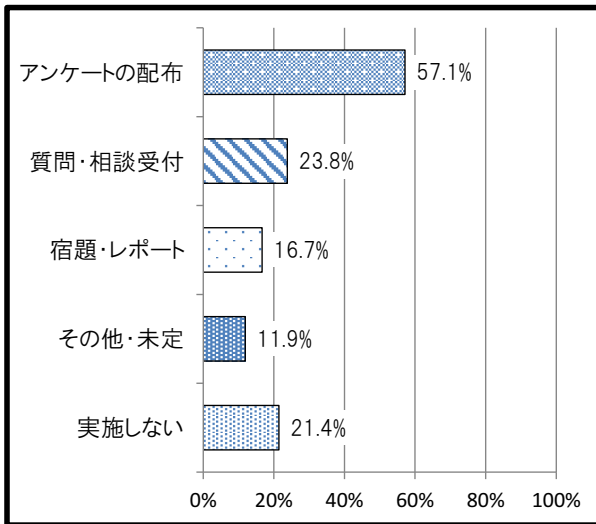


○「誰でも受講できる」(資格等不要)とした研修が最も多く、次いで「就労支援員向け」の専門研修が多い。

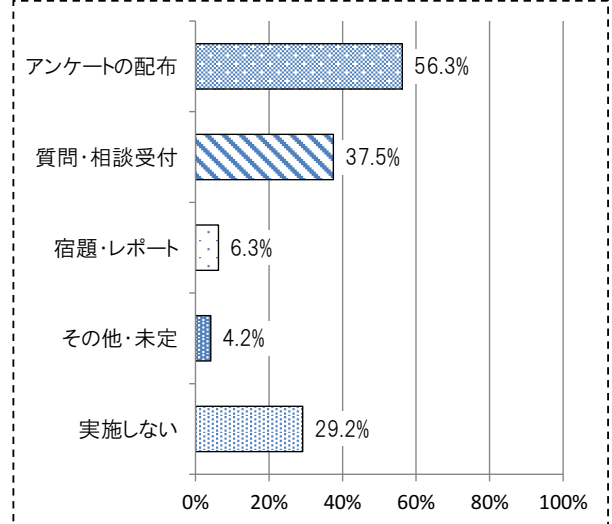
○今回調査では市町村・大学等が実施する一般向けの研修が多く、対象目安を限定しない研修の割合が増加した。

⑤ 研修後のフォローアップ※複数回答

H30.10



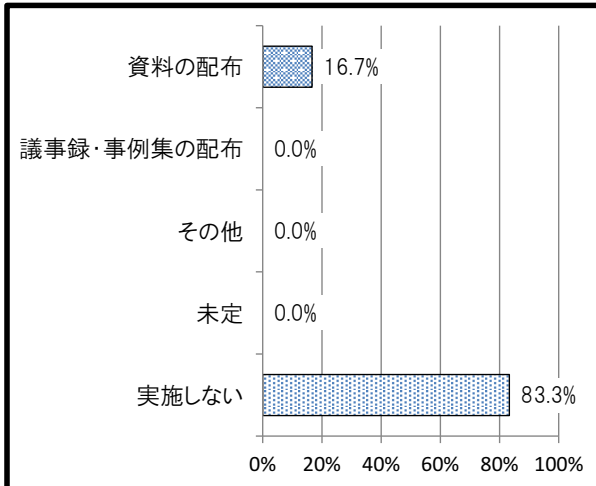
※参考(H29.10)



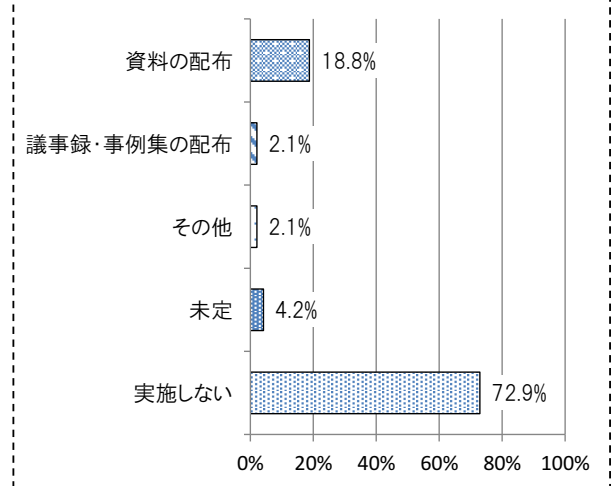
- 実施方法としては「アンケート配布」が最も多く、「質問・相談受付」がこれに次ぐ。
- 全体の約8割が何らかのフォローアップを実施している。
- 前年度からフォロー実施機関の割合が増えており、次回研修をよりよい形で実施しようとしていることが推察できる。

⑥ 欠席者等へのフォロー※複数回答

H30.10



※参考(H29.10)



- 欠席者のフォローを実施している研修は約2割に留まった。
- フォロー方法は、資料配布のみ。

H30.10

※参考(H29.10)

基礎的知識・理念

②就労支援に関する制度

③関係機関の役割・連携

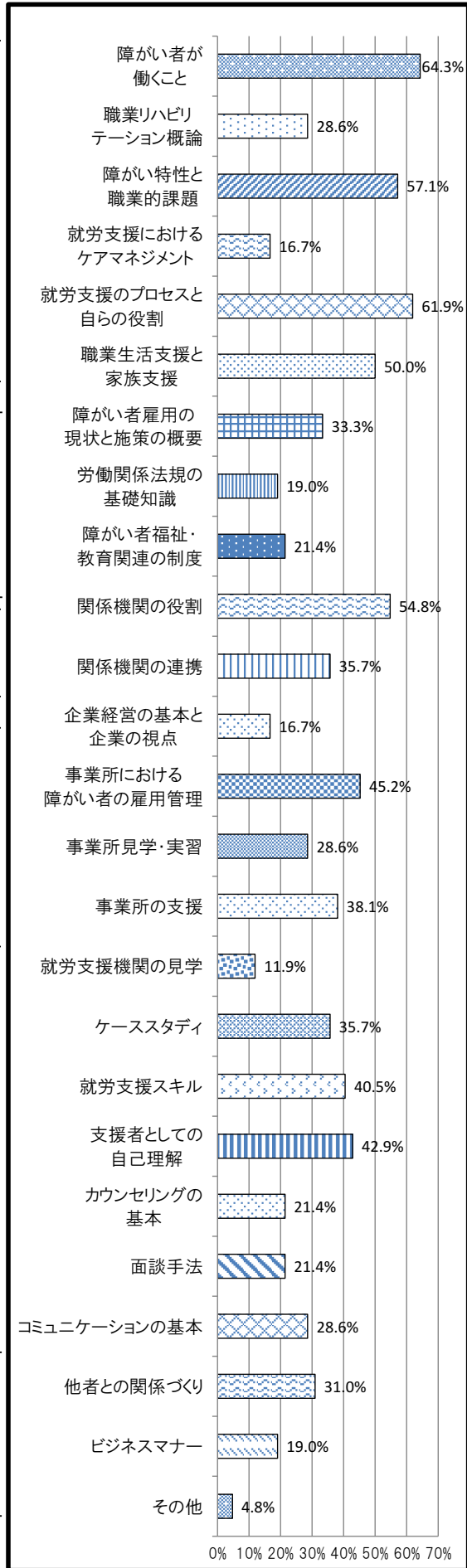
④企業の障がい者雇用の現状・課題

⑤就労支援の現状・課題

⑥支援者としての自己理解

⑦相談スキル

⑧コミュニケーション



基礎的知識・理念

②就労支援に関する制度

③関係機関の役割・連携

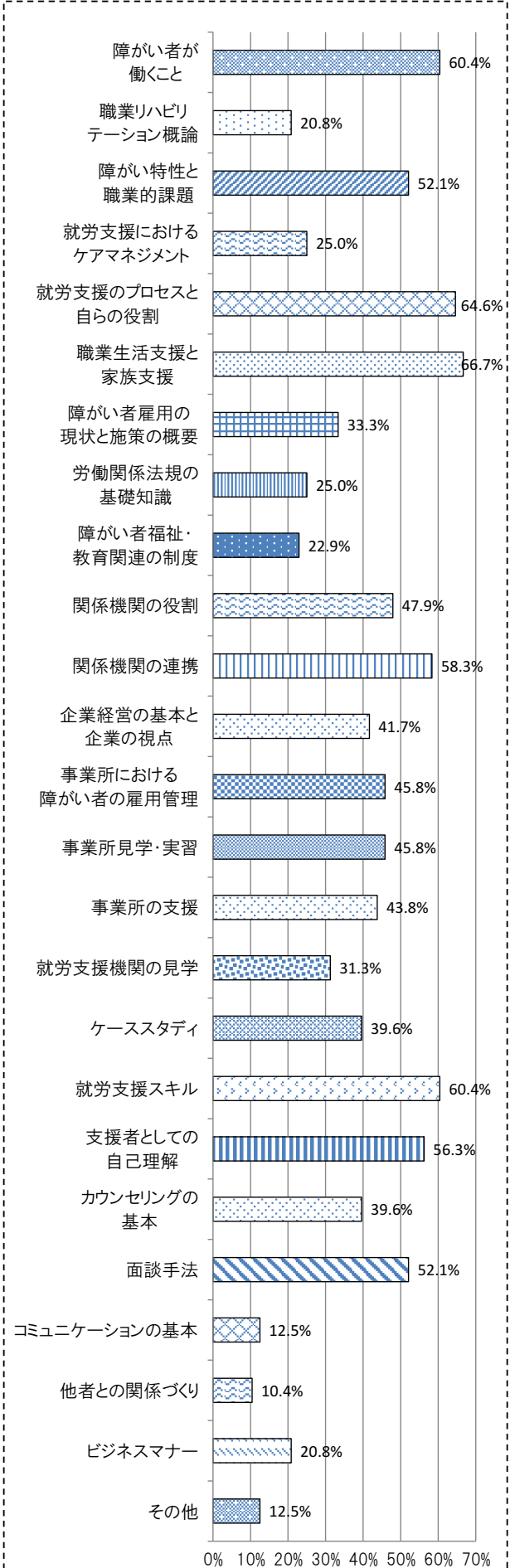
④企業の障がい者雇用の現状・課題

⑤就労支援の現状・課題

⑥支援者としての自己理解

⑦相談スキル

⑧コミュニケーション



○ コミュニケーションや他者との関係づくりの研修が増えており、対人関係が重要視されてきていることが分かる。